

一社専属ライフプランナー の 反対処理トーク集

結婚してからでいい

見込み顧客が喜んで納得する禁断の反対処理トークでMDRTへ。



結婚してからでいい

火事がおきたら

「仕事が終わって家に帰ったら、自宅の前に人だかりができていて、〇〇さんの家が燃えていたとします。」

「慌てて駆け寄ってみたら、2階のベランダから婚約者が「助けて！！」って叫んでいます。」

「1階のタンスの中には、コツコツと貯めた結婚式の準備金が閉まってあります。」

「婚約者かお金か、どちらかしか救えないとしたら、〇〇さんならどちらを救出しますか？」

「当たり前ですよね？ 目に見えて万が一が迫ったら、間違いなく婚約者を助けると思います。」

「でも万が一が目に見えなかったら、目先の数万円のほうが大切かもって勘違いしてしまう人が多いものなんです。」

「今、〇〇さんに万が一の事態が起こったら、婚約者は間違いなく「助けて！」って叫ぶと思うんですが、周りに数千万円の援助をして、何十年も支えてくれる人っていますか？」

「それができるのは、〇〇さん自身しかいないんですよ。」

結婚している人は

「私のお客様は8割が既婚者なんですけど、ほとんどの人から言われるセリフがあるんです。」

「それは、「独身のうちに保険に入っておけばよかった」というものなんです。」

「考えてみてください。結婚して、財布を奥様に握られて、お小遣い制になって、やれ結婚式だ、やれ新婚旅行だ！そのあとには出産があって子供の教育費だ！次は家を買う頭金だ！・・・と、人生の支出がめっちゃめっちゃ増えるんですよ。」

「そんな中で計画的に貯蓄していくとなると、どうしてもお小遣いから保険に回すことになる方が多いんです。」

「独身のうちって、めっちゃめっちゃ自由にお金を使えるじゃないですか？」

「だから結婚した方みんな、あの時せめて〇万円くらい将来のために貯金しておけばよかったって言うんですよ。」

ヤンキーでも・・・

「ヤンキーって早くに結婚する人が多いじゃないですか？」

「でもしっかり結婚式挙げてますよね？」

「あれって、ヤンキーがみんな貯金してるからだと思いませんか？」

「実は結婚式ローンでお金を借りたり、親に借りたりして一時的に払って、その後ご祝儀とかで返してる人がほとんどです。」

「なにが言いたいかって言うと、結婚式はお金がなくても挙げられます。」

「だって、ヤンキーでも挙げてるじゃないですか（笑）」